

大学図書館職員短期研修

1. 目的

大学図書館等の活動を活性化するため、大学図書館等の職員が、今後の図書館の企画・活動を担う要員となる上で必要な、図書館業務の基礎知識・最新知識を修得する。

2. 到達目標

国内外の大学図書館等における最新の動向や事例を学び、図書館業務の推進および改善について、主体的に考えることができるようになる。

3. 受講対象者

以下の条件をすべて満たす者を対象とする。

(1) 所属機関

大学等（大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関法人、大学校、独立行政法人および文部科学省の施設等機関）。

(2) 勤務形態

現在、大学等から直接雇用されて図書館等に勤務し、また受講後も一定期間の図書館勤務を予定している職員。

(3) 年齢

2023年4月1日現在の年齢が35歳以下であること。

ただし、応募状況により36歳以上の職員の受講も可とすることがある。

(4) 勤務年数

2023年4月1日現在、大学等での図書館勤務年数が2年以上10年以下であること。

ただし、応募状況により、勤務年数が10年を超える職員の受講も可とすることがある。

なお、現所属機関の勤務以前に、受講条件(1)(2)を満たす勤務年数がある場合は、通算してもよい。

※ 過去に大学図書館職員短期研修（2006年度までの旧称「大学図書館職員講習会」も含む）を受講したことがある者は原則として受講対象としない。

4. 受講の前提となる知識

- 図書館業務の概要を把握していること。

5. 受講にあたっての注意事項

- 以下については、COVID-19の感染拡大状況等により変更することがある。
- COVID-19の対応については、所属先で定める方針を遵守すること。
- ただし、所属先の方針に比べ、下記の内容が厳格な場合はこちらに従うこと。
 - 研修会場となる東京大学の「東京大学の学生・教職員のみなさんへ～新型コロナウイルス感染拡大防止のために～」（2023年5月8日改定）

<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400214358.pdf>

- 研修中、および研修会場への移動の際には、不織布マスクを着用すること。
- 研修会場に入場する際は検温・アルコール消毒をすること。
- 発熱等感冒の症状がある場合は研修への参加を見送ること。その場合、修了証書は発行しない。
- 研修中、手洗い、咳エチケットを励行すること。
- 研修中に COVID-19 に罹患した場合、研修事務局では発熱外来の紹介等を行わない。

6. 開催会場・開催期間等

開催会場	開催日時		申込締切日	定員
東京大学 総合図書館	2023.10.17 (火) ~ 10.20 (金)	第1~3日 9:30~17:30 第4日 9:30~17:00	2023.7.14 (金)	40名

2024年度は京都大学附属図書館で、2025年度はWeb開催を予定している。

7. 主な研修内容（予定）

- 大学図書館の現状と課題
- 大学図書館における各種業務・サービスの最新動向
- 国立情報学研究所の学術コンテンツ事業
- 海外研修事例報告
- グループ討議、成果発表

参考：2022年度大学図書館職員短期研修カリキュラム
<https://contents.nii.ac.jp/hrd/librarian/2022/librarian>

8. 受講の申込みと受講者の決定

受講希望者の所属機関が、研修申込システムから申込みを行う。主催機関は推薦された者の中から受講者を選考し、各所属機関の長または所属部局の長に対して結果を通知する。

※研修申込システムからの申込み時に、必ず推薦書データ記入例を確認の上、入力すること。

<https://contents.nii.ac.jp/hrd/apply/example>

※申込み手順の詳細は、『研修申込システム利用手順』を参照。

9. 経費

研修費および教材費	無料
旅費	所属機関の負担

10. 修了証書

この研修において所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。

11. 研修概要ウェブサイト

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/tanken>

12. その他

本研修は、東京大学附属図書館、京都大学附属図書館、国立情報学研究所が主催する。